

# 議会 だより

## 祝 白川村消防出初式



第22号

平成31年1月11日  
発行

### 新春「消防出初式」

1月6日 鳩谷体育館において平成最後の白川村消防出初式が行われました。

参加した消防団、女性防火クラブ、高山消防署の総勢137名は、きびきびとした動作で式に臨み、新しい元号の時代も村民の生命と生活基盤を守ることを改めて誓い、村民にとって本年も良い年となりますようにと祈願して幕を閉じました。

#### CONTENTS

|             |    |         |    |
|-------------|----|---------|----|
| 新年のご挨拶      | 2  | 議会の予定   | 13 |
| 12月議会定例会    | 3  | 議員になろう  | 14 |
| 12月定例会 一般質問 | 5  | 議会探検隊募集 | 14 |
| 特別委員会開催報告   | 12 | 編集後記    | 14 |
| 議会から村への提言書を | 13 |         |    |



白川村

shirakawa village



白川村議会 議長  
上手 英二

新年明けましておめでとうございます。白川村民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、議会活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年村では、高級旅館の建設、養豚場建設、デイサービスセンター建設と大きな事業が進みました。産業活性化を促進し、福祉の活動拠点として、地域に元気をもたらし事業の推進を見届けたいと思います。

そして、何と言っても災害の多い年でありました。7月の豪雨、9月、10月の台風、停電、とりわけ7月の豪雨では南部地域において避難勧告が発令され、延べ300人余りが避難し皆様に大変ご心配をおかけしました。幸いにも人的被害が

無く安心したところではありますが、国道156号法面崩壊による通行止め、河川護岸決壊、山腹崩壊など災害が村内各地で数多く発生しました。村と一体となって要望陳情し、国・県・関係各位のご対応のおかげで回復に向かっています。改めて村民の皆様への安心・安全な暮らしを守るための防災・減災対策の重要性を感じており、要望活動を進めてまいります。

さて、私たち議会議員の任期も残すところ3ヶ月となり、今一度気を引き締めて、村民の皆様への声を聴き、村政へ反映できますよう議会活動を行っていきたく考えていますので、昨年にも増してご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、村民皆様にとって実り多き年になりますよう、議会議員一同、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



白川村議会 副議長  
大田 貢

新年あけましておめでとうございます。

白川村副議長として謹んで新年のご挨拶を申し上げ、村民の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から行政、議会運営につきまして格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月の西日本豪雨・9月の台風・北海道地震に遭われた皆様にお見舞いと亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。政治の世界では、安倍首相が自民党総裁選で三選を果たし総理大臣となりました。また、スポーツ界では、平昌オリンピックでの日本人の活躍、中でも羽生結弦選手が66年ぶりの金メダル連覇で国民栄誉賞に輝きました。最も明るい話題では白川村にご縁のあります根尾昂さんの高校野球での活躍・ドラフト会議で一位指名を受け中日球団への入団が決まり背番号「7」の活躍を期待したいと思います。

村内では、5月から買い物弱者のための移動

販売車が始動・しゃくなげ荘の移転新築工事・戸ヶ野用水の小水力発電所が完成しました。

迎えます平成31年は、衛生管理の徹底で無薬豚を生産、地域に根差した養豚事業に6次産業を期待し、新しく出来ます高級旅館のオープン等で雇用が増えることに期待したいと思います。また、行政の進める福祉政策・少子高齢化対策・企業誘致6次産業・国道156号の改良等に取り組みたいと思っております。

また、世界遺産白川郷合掌造り集落へは国内外からの観光客が白川村を訪れていただいています。白川郷の魅力を伝え「おもてなしの心」で全村民が今以上に質の高い観光を目指そうではありませんか。

住民の民意を反映し、行政をチェックしていくことが私ども議会の責務であると考えます。その役割と責務の重さを自覚し、決意も新たに行政発展のため全力で尽くしてまいりますので、一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、村民の皆様にとって、この一年が良いとなりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





12月議会定例会は、平成30年12月5日(水)から12月14日(金)の会期で開催し、表彰の同意、条例の制定・改正、補正予算を慎重に審議し原案のとおり可決しました。

## ◆12月議会定例会◆

### ●被表彰者の同意(1件)

#### ◎白川村自治功労者表彰条例に基づく被表彰者の同意

▶条例第2条第1項第4号により、次の2名を表彰することに同意しました。



中村秀司氏

66歳 萩町  
消防団員在職43年2カ月  
うち分団長以上19年



和田茂氏

60歳 萩町  
消防団員在職39年9カ月  
うち分団長以上12年

平成31年1月10日、新年祝賀会の席上、表彰式が行われました。

### ●条例の一部改正(7件)

#### ◎白川村福祉車両の設置及び管理運行に関する条例の制定

▶まめなカー等5台の福祉車両の設置場所、利用、管理、運行に関する規定を整備するために制定されました。

#### ◎白川村特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正

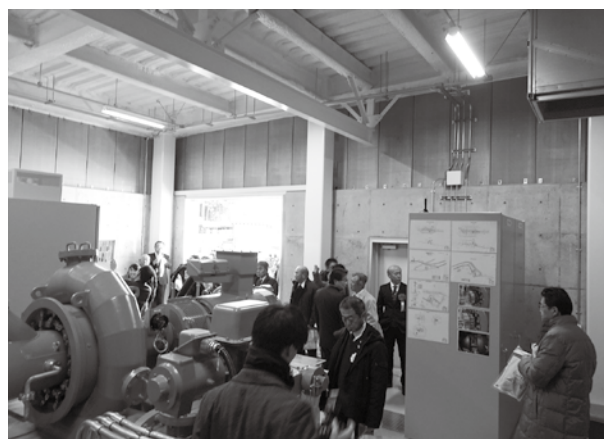
▶鳩谷の施設が管理開始から20年が経過するため、家賃の減額制度を見直し、入居者負担金が改正されました。

#### ◎白川村新規就農者技術習得施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

▶木谷の施設の規格及び単身就農者用の一部を2名利用する場合の使用料を追加しました。

#### ◎白川村積立基金条例の一部改正

▶戸ヶ野に完成した清流発電所の保守・維持管理の財源となる基金を創設しました。



通電式に披露された戸ヶ野地内の小水力発電所

#### ◎白川村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正(委員会付託案件)

▶人事院勧告に従い議員の期末手当の支給率が改定されました。

#### ◎白川村常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正(委員会付託案件)

▶人事院勧告に従い特別職の期末手当の支給率が改定されました。

#### ◎白川村職員の給与に関する条例の一部改正(委員会付託案件)

▶人事院勧告に従い職員の給与について改定されました。

# 第4回定例会各議案認定のツボを解く

議会として多くの議論と協議を要した議案を紹介します。

## 白川村特定公共賃貸住宅の設置 及び管理の条例一部改正（総務課）

### 白川村村営住宅（鳩谷）

施設の管理から20年が経過することによって、建設当時にあった家賃の減額制度が終わる為、入居者負担額の見直しを行うものです。所得に応じて負担額は変わりますが、単身用で5000円から7000円、世帯用で10000円から27400円負担が増えます。尚、木谷の住宅も20年経過時に同様の処置が検討されております。

白川村では、平瀬のしらみずの力に次ぐ第2の小水力発電施設として、県営中山間事業（農林係）で作られました。牛首谷から引水して発電しますが、電力会社の送電線の容量が足りないこともあり、発電に制限が設けられてはいますが、地域の活性化に貢献できるものと確信しております。

## 白川村積立金条例 一部改正（総務課）

### 戸ヶ野用水清流発電所基金創設

## 緊急新産業創出事業 （補正予算・基盤整備課）

**補正額 189万5000円**  
（一般財源）

サンフラワーの育苗に関する苗箱の購入への補助金。これまでは、芽だしのものを購入して育て出荷していましたが、種から育てることによって経営改善に繋げるということで議決した。

冷房設備対応臨時特例交付金事業により、白川郷学園の1年生から9年生の教室にエアコンを設置するものとして議決した。尚、森崎議員が一般質問で議論を展開した。

決算額4259万円（国・県支出金2700万円；地方債1400万円；一般財源159万円）

## 学校関連施設整備事業 （補正予算・教育委員会）

**補正額 1600万円**  
（国421万円；地方債1000万円；  
一般財源179万円）

### ◆ 平成30年度 一般会計・特別会計12月補正予算収支状況

（単位：千円）

| 会計名  |         | 補正前の額      | 今回の補正額  | 補正後の額     |         |
|------|---------|------------|---------|-----------|---------|
| 特別会計 | 一般会計    | 4,139,925  | 11,517  | 4,151,442 |         |
|      | 介護保険    | （サービス事業勘定） | 3,202   | 補正なし      | 3,202   |
|      |         | （保険事業勘定）   | 232,622 | 308       | 232,930 |
|      | 後期高齢者医療 |            | 32,800  | 125       | 32,925  |
|      | 国民健康保険  | （事業勘定）     | 216,359 | 0         | 216,359 |
|      |         | （直診勘定）     | 112,457 | △2,480    | 109,977 |
|      | 簡易水道    |            | 69,561  | 1,118     | 70,679  |
|      | 温泉開発    |            | 28,600  | 233       | 28,833  |
|      | 公共下水道   |            | 131,044 | 0         | 131,044 |
|      | 白弓スキー場  |            | 20,235  | 200       | 20,435  |
|      | 小計      |            | 846,880 | △496      | 846,384 |
| 合計   |         | 4,986,805  | 11,021  | 4,997,826 |         |



## 安心安全な村づくりの為に



大田 貢 議員

### Q 六厩クリーンセンター・産業廃棄物処理施設計画について

### A 情報収集をして監視して参ります！

**Q** 荘川町六厩地区に産業廃棄物処理施設の計画書が10月3日に高山市へ提出されました。この地域は庄川流域の最上流ということもあり、地元において、また、庄川で暮らす大勢の方々の中で非常に憂慮されております。私は断固反対すべきと考えますが、村の考えをお聞かせください。

**A** 高山市からの情報によりますと、施設の設置者は(株)アルトと云う会社で荘川町六厩地区に産業廃棄物施設の設置のため高山市に開発構想届が提出されたと聞いております。施設の詳細について、埋立て廃棄物は「汚泥・廃プラスチック・ばいじん等」の18種類で更に石綿含有産業廃棄物や水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等が含まれるとの情報であります。また、この施設には飛騨地区の産業廃棄物は入らな

い、或いは準好気性埋立て方式との情報もあります。開発面積は61万7千㎡と広大で埋立て面積11万㎡に加え埋立て容量も246万6百㎡と膨大な処理能力を備える計画との情報であります。この計画地は1級河川「六厩川」に隣接し、周辺の水質汚染や耕作地の土壌汚染、アスベストやダイオキシンによる大気汚染、更には人体や周辺地域に生息する生物への悪影響も懸念されるとのことから、地域住民の不安は強く、地域関係者の反対署名を持って高山市に陳情を行ったと聞いております。白川村といたしましても「庄川の鮎」が全国大会において準グランプリを2回獲得している中で持ち上がった話であり、危惧をしているところでありますが、許可権者は岐阜県でありますので、更に情報を入手しつつ、高山市と協議を行いながら結論付けて参りたいと考えております。  
(答弁者：岩本総務課長、成原村長)

## 11月 行事結果

| 行 事                         | 出席者  |
|-----------------------------|--|
| 2日(金)<br>中電懇話会<br>全環協・岐浄連大会 | 議 長<br>森崎議員<br>新谷議員<br>大田忠議員<br>川田議員<br>高桑議員 |
| 6日(火)<br>総務産業常任委員会村内視察      | 全議員  |

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 7日(水)<br>地方自治連絡協議会       | 議 長 |
| 8日(木)<br>飛騨市・白川村議会議員協議会  | 全議員 |
| 15日(木)<br>全国過疎地域自立促進連盟総会 | 議 長 |
| 16日(金)<br>高山警察署新庁舎竣工式    | 副議長 |
| 19日(月)<br>議会運営委員会        | 全議員 |

|                                |       |
|--------------------------------|-------|
| 21日(水)<br>全国町村議会議長会 町村議会議長全国大会 | 議 長   |
| 23日(金)<br>政権与党国会議員との意見交換会      | 議 長   |
| 26日(月)<br>米コン国際大会in飛騨          | 議長・総長 |
| 29日(木)<br>例月出納検査               | 高桑議員  |

## 12月 行事結果

| 行 事                                   | 出席者  |
|---------------------------------------|--|
| 3日(月)<br>岐阜県町村議会議長会 評議員会<br>知事との意見交換会 | 議 長<br>長 長                                   |
| 5日(水)<br>議会定例会(初日)                    | 全議員  |
| 8日(土)<br>白川郷学園地域公開日                   | 副議長<br>森崎議員<br>新谷議員<br>大田忠議員<br>川田議員<br>高桑議員 |

|   |                   |
|---|-------------------|
| 10日(月)<br>戸ヶ野用水清流発電所通電式                   | 全議員               |
| 11日(火)<br>総務産業常任委員会<br>議会改革運営委員会<br>議員懇談会 | 全議員<br>全議員<br>全議員 |
| 13日(木)<br>執行・教育委員合同学校訪問                   | 全議員               |

|                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| 14日(金)<br>第4回議会定例会(最終日)<br>議会提言書の提出 | 全議員<br>全議員 |
| 17日(月)<br>白弓スキー場安全祈願祭               | 全議員        |
| 20日(木)<br>例月出納検査                    | 高桑議員       |
| 21日(金)<br>飛騨地域議長サミット                | 正副議長       |



## 住みよい村づくりに尽力を！

**Q** 「いつまでも住み続けたい村へ」三期目の挑戦はあるのかについて

**A** 3期目の挑戦に全身全霊をかけてまいります！

**Q** 村長に就任して2期目最終年度となりました。マニフェストに掲げました「後押し行政」「母の目行政」「孫の手行政」についての成果をお聞かせください。

平成29年度は実質公債比率1パーセントと健全財政を継続していただいています。また、白川村総合戦略の重要政策に位置づけられた7つの基本方針「自然と共に生きる心」「郷を尊ぶ心」「誰もが安らげる心」「想いを受け継ぐ心」「村を創造する心」「共に育つ心」「結いでつながる心」のもと職員一丸となって行政運営を行っていただいておりますことに感謝申し上げます。これからも村行政発展の為に一層のご尽力をお願いしたいと思います。

さて、来春はいよいよ選挙の年となります。「いつまでも住み続けたい村へ」を掲げる村長の3期目はあるのか率直にお聞かせ下さい。

**A** 「後押し行政」については、企業誘致の推進・村民の起業化の促進・白川郷ブランドづくり・若妻会等による発想を活かした観光地創りと発想の転換・大白川活用等による南部地域の活性化・観光産業の資質向上・公共事業費の確保・国道156号の改良促進・県営中山間事業の継続等の施策など産業育成のための事業を実施してまいりました。

「母の目行政」については、3子目以降及びひとり親家庭の学校給食費と保育料の免除・土曜保育の充実と未満時保育の充実・義務教育学校の創設とその体制づくり・学童保育クラブの創設による母親の働きやすい環境の創設・高校生への通学、下宿支援の創設等の施策等を実施してまいりました。保護者、特に母親に対するアンケートでは子供に対する教育投資が大きな負担となっていることが判明しておりますので「ゆりかご事業」を始めとする各種事業を実施するとともに、奨学資金の選定緩和などにより保護者の負担感が以前より減少し、家庭への金銭的負担も現実に減少していると認識しております。

「孫の手行政」については、移動販売車の稼働による買い物弱者の救済・まめなカーの導入による移動手段の確保・住民健診の検査項目の拡大・在宅介護の手当の充実及び増額と支給品の充実・透析者の移動手段の確保と交通助成の見直し・白川、平瀬診療所の移転と充実・地域医療の広域化による医師確保と患者への安心感の確保等の施策を実施してまいりました。

今月には東海郵政(株)と見守り談話サービスの協定を締結させて頂き高齢化社会に向けて村外に住んでおられるお子様達に安心して頂ける施策も展開しており、高齢者が安心して「いつまでも白川村に或いは住み慣れた地域に住み続けたい」と思える施策を講じて参ります。

私の3期目出馬に向けての質問でございますが、私の2期に渡るこれまでの村づくりにつきましては、当初のマニフェストに掲げました3本柱の内容をどれだけでも進めながら、地域の皆様が安心して生活が出来る基盤を築き上げることであり、これまで数多くの施策を講じてまいりました。

もちろん内政課題につきましても地域の皆様のお声を頂きながら、誠心誠意取組んで参ったつもりでございます。

また議会皆様と共に、この職に就任以来、上位機関との関係を構築しながら、皆様と協議を重ねる中でこれまでいろいろな施策を講じ、いろいろな課題が解消・解決されつつあると認識しておりますし、自負もいたしております。また、地域の皆様からも一定の評価を頂いていると信じております。しかし、人口減少対策をはじめ、産業の構造改革等、まだまだ課題は山積していることも現実であります。

3期目の挑戦の機会を頂きましたなら、時代と共に変化する各種・多岐にわたる課題解決のため、全身全霊をかけたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(答弁者：成原村長)

## 平成の次の時代に向かって！



高桑徹司 議員

### Q 来年度取り組む「白川村創生」について

#### A 基軸は白川村総合戦略からの発展

**Q** 「地方創生」。それぞれの特徴を活かし、自律的かつ持続的で魅力ある社会を創るとあります。今回は、白川村創生を図る指揮官である3人の課長様に、来年度予算から見る抱負についてお聞かせ頂きたいと思います。また、村長には、統括をお願いしたいと思います。

**A** 観光振興課では、来年度で終了となる白川村総合戦略の次期計画の策定を念頭に、移住定住対策を首都圏にて行い、過去に参加者した皆様を中心に情報発信等の強化を図ります。同時に求人検索エンジン「スタンバイ」に特集ページを開設し、移住希望者へ仕事の情報も伝えたいと考えております。また、ふるさと納税についてもポータルサイトを利用して、インターネットを通じてより閲覧してもらいやすいようにして、返礼品についても一層の予算内での趣向を考えたいと思っております。外国人観光客対応についても、総合パンフレットの多言語化を軸に一層の宣伝強化と同時に、公衆トイレの洋式化へ取り組みます。基盤整備課では、「緊急新産業創出事業」、「元気な農業産地構

造改革支援事業」、「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」を柱として進めて参ります。また、昨年豪雨災害の経験を基に、平瀬地区の河川護岸工事をはじめ村の建設事業への強化と仕事の少ない時期での入札が行えるよう配慮に努めて参ります。企業誘致対策課においては、成果の一つとして高級旅館がいよいよ開業を迎えます。養豚場においては、2020年での初出荷に向けて、工事の進捗を注視しながら県と協議を重ねながら予算要望をして参ります。しかしながら、就業人員の確保が大きなテーマになっているので、庁舎内の連携を深めながら力を注ぎます。統括として、議員のご質問のように村内産業の構造改革や大規模化は進展してはおりませんが、村の総合戦略と私の掲げる3つの矢を基本に、現在の産業支援の充実を計りつつ外部資本の導入や利用をさせて頂きながら、定住人口の維持または増加を計り、日本で最後の村になっても残り続けられる創生政策を展開致します。

(答弁者；向観光振興課長、古田基盤整備課長、飯波企業誘致対策課長、成原村長)

## 地域間交流で夜を元気にしませんか？

### Q のままいカーを走らせませんか？

#### A 村民、地域が必要とするなら前向きに

**Q** 「白川村の気になっていること・変えたいこと、ありたい未来」というテーマの会議に参加させて頂きました。沢山の言葉の中で、「平瀬や荻町・鳩谷とかあるけど、他の地域のことをよく知らない」という言葉に、多くの若者が共感していたのに驚きました。これは、普段の生活の中で、他の集落との交わりが少ないのではないかと考えます。昼間は仕事と捉えるなら休日には村外。村の中で広く交流するには夜となります。代行運転の業者も無いため、自分の地域外でお酒等を飲んだりという機会は少なくなりました。そこで、夜という時間を活性化させる事、人を動かして活性化に繋がると考えます。そこで私は、「のままいカー」を走らせて欲しいと考えます。例えば運行は、完全予約制で金曜土曜のみ。乗車賃1000円で、乗降位置は昔の各バス停で南部を23時発でその後南部に戻る。私は、会議の参加者の皆さんのお話を伺いたいと感じました。お酒

の力も借りるなら、もっと本音を聞けたかもしれない。これからの村づくりを考えた時に、絶対必要であると思えました。賛否あることは承知の上で、村長の考えをお聞かせ下さい。

**A** 議員の言うように他の集落を知らない世代は増えていると感じます。観光従事者の増加や青年会や女性会の活動の低下等も原因のひとつではないかと推察します。議員提案の「飲みニュケーションバス・のままいカー」ですが、高桑村長時代に実践した「9斗9升9合の会」を思い出しました。行政への思いや地域間交流の場であったと記憶しております。しかし現在では、単なる飲み会送迎バスと捉えられると経費の無駄遣いと指摘されます。議会と地域の懇談会も開催されているようなので、地域のニーズとして必要とされるなら真剣に議論をしたいと考えます。(答弁者；成原村長)





川田 裕 議員

## 平成30年度の総点検

**Q** 白川村の課題と展望について**A** いつまでも住み続けたい村であるために

**Q** 白川村の将来を思うと、少子高齢化による人口問題であったり、就業場所の確保であったり、課題は山積と考えます。そこで、「米麺製造販売事業について」、「白弓スキー場について」、「御宿 結の庄について」、「移動販売車について」、最後に村長には、2期8年を振り返って今後への思いをお聞かせ下さい。

**A** 米麺製造販売施設レイク・ルーズ社については、公共料金等の未納付があり製造装置も本社に移設しており憂慮すべき事態があります。状況改善に向けて粘り強く交渉しておりますが、展望は開けておりません。議会への招致説明も必要と考えており、議会の協力も頂きたいと考えております。白弓スキー場については、リフト支柱の耐用年数問題もあり、検討委員会等を開催しながら協議を進めております。スキークラブ会長からスキー場存続の要望書も村に出されており、検討委員会内での存続の可否は困難に思われ、議会と執行の間で結論を出して行かなければならないと考えております。御宿結の庄は、グランドオープンを3月8日としております。先般の住民説明会には、64名の方に参加を頂いたところであります。従業員寮は30名程度と伺っており、新村民として住民票を移して頂くことや、地域行事への理解と参加等、村民の皆様と共存共栄が図られるようお願いをして行きます。移動販売車については、昨年5月28日から運行を開始し、ここまでの利用実績については、平均客数70人、買い物点数は9点、平均売上15万円、利用率は11%となっております。村では、平成30年度に新規事業としてソーシャルビジネス支援助成金交付規則を制定して、地域の社会的課題及び活性化を図る事業を行う団体等に費用の一部を助成しております。助成の期間は、最長で5年となっております。今年度予算は、268万円を見込んでおりま

すが、利益額の確定を見ての精算となっております。さて、私自身の命題として2期8年取り組んできた事として、定住人口の確保に向けて政策を行って参りました。「今、何が求められているのか？今、何をすべきか？」を考え業務を行うと同時に、「スピード・スピリットを持ってチーム力に対応し、タイムリーな仕事を実践するためにチャンスを逃さず、チャレンジ精神と強い信念で更には必要なチャンネルを持って」を常に忘れることなく、「公務員であること」を基本として業務に取り組みば、自ずと展開が開けると考えております。時代に合わなくなった事業の廃止やニーズに合わせた事業の構築等、各課長には検証をするように指示を出しております。これまで行ってきた政策の数々は、目指す姿へ到達させるための手段であることをご理解頂きたいと思えます。「所得の確保を図るための産業の育成と構造改革、そして村内経済の活性化。子育て環境の改善と少子化対策、更には誇れる地域づくり、高齢世代への優しい配慮」。これらの実現の先に、「いつまでも住み続けたい村」があると信じております。これからも職員と共に精進して参ります。

(答弁者；飯波企業誘致対策課長、向観光振興課長、成原村長)



平成30年5月に稼働した移動販売車



## 地域へ便利と観光客へのおもてなしを！



新谷保雄 議員

### Q コインランドリーの設置について

### A 民間で起業していただくことを望みます

**Q** コインランドリーが白川村にも欲しいとの要望が子育て世代の母親、各年齢層のお母さん達から多くあり、又、道の駅で車中泊される方や温泉を楽しまれる村外の方からランドリーの有無について質問があるようです。現状は高山市、南砺市のランドリーを利用しているとの事です。コインランドリーのメリットは家庭用洗濯機で洗えない物、布団、ジュウタン等を一気に洗い乾燥ができ、寒い冬や梅雨など雨が続く季節でも、衣類をカラッとふんわり乾燥できるとのこと。このようなコインランドリーを個人起業するための費用は洗濯機3~4台、乾燥機を7~8台、その他費用と初期投資は2,000万円程度必要。

白川村の人口は1,600人強で、個人起業は難しいと考えられるが、コインランドリー設置の要望に応える方策について伺いたい。

**A** 観光客のおもてなしの一つでもあります。コインランドリーの設置は、私自身も何とか誘致出来ないかと苦慮いたしております。個人で設置したいので村は誘致や設置をしないで欲しいと一時は起業させたい個人も存在して

おりましたが、採算性の問題から現在は何もないと云うのが現実です。

これだけの観光産業がある訳ですから、コインランドリーが存在しても良いと思いますし、おもてなしの面からも必要ではないかと考えますが、行政が設置するとなると多くの課題が出て参ります。民間で設置して頂ければ非常に喜ばしいことだと考えておりますし、一部に誘致の話もありますので、是非実現したいと思います。議員のお立場で、進出や誘致の話題がございましたら、是非お勧め頂きたいと思っております。  
(答弁者：成原村長)



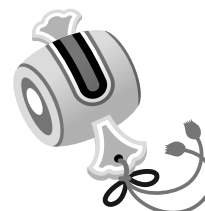
周辺市では増えつつあるコインランドリー

## 1月 行事予定

| 行 事                   | 出席者 |
|-----------------------|-----|
| 6日(日)<br>消防出初式        | 全議員 |
| 10日(木)<br>新年祝賀会       | 全議員 |
| 11日(金)<br>村社会福祉協議会理事会 | 議長  |

|   |      |
|---|------|
| 15日(火)<br>議員懇談会                         | 全議員  |
| 17日(木)<br>地方議員研究会研修                     | 高桑議員 |
| 22日(火)<br>例月出納検査                        | 高桑議員 |
| 30日(水)<br>岐阜県町村議会議長会<br>地方財政対策説明会・合同懇談会 | 議長   |

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 31日(木)<br>結の庄 竣工式 | 全議員 |
|-------------------|-----|





森崎敏克 議員

## まだまだ必要？教科教室は未設置

**Q** 白川郷学園エアコン設置について

**A** 1年生から9年生の教室に設置します

**Q** 今年のような猛暑への環境対策として、国が冷房設備対応臨時特例交付金を創設しました。先般の定例会において、白川郷学園へのエアコン設置に向けて1600万円が上程し可決されました。補助率が3分の1から見てどの教室に設置されるのか？また、エアコンの運用基準をどう定めるのか。合わせて電気代やメンテナンスの経費に対しての、国からの交付税算入措置はあるのかお尋ねします。

**A** 村では、昨年に前期課程校舎の音楽室と特別支援教室（2室）にエアコンを設置しており、今回の交付金によって1年生から9年生

の各教室に設置します。これは、文科省の算定方法から示された算定方法に基づいております。運用については、26度から28度の範囲と考えておりますが、養護教諭からの意見も参考にして運用基準を定めて参ります。また、今回の措置により全国的に工事が集中することも予想されるので、翌年度への繰り越し事業になることも想定してこの事業に取り組みます。最後に、経費の交付税算入についてですが、来年度の算入に向けて検討中と聞いておりますが、具体的に算入されるかについては、現在のところ未定であります。（答弁者；宮脇教育委員会事務局長、倉教育長、宮丸財政課長）

## やり遂げる意思の強さが求められる

**Q** 平成30年度事業の取組について

**A** 問題点を精査し真摯に取り組みます

**Q** 社会福祉協議会の現状と体制強化について。荻町世界遺産地域の全面通行止めについて。白川村新庁舎建設の3点について、取組状況をお聞かせ下さい。

**A** 平成6年に社会福祉法人を取得し、村が事務局を担って参りました。本来の組織としては、地域住民による自助・互助活動を高めるための知識と技術を備え、体制整備を進める民間組織となります。これまで村長の指示により、研修を受けたり近隣の協議会の業務や体制を精査研究して参りましたが、村においては、人員の確保や財政基盤の確保、活動拠点の確保等、至らない部分も多くあり一層の検討を重ねて参りたいと考えております。荻町世界遺産集落の全面通行止めについては、現在も交通対策委員会で勉強会や協議を諮りながら、あるべき姿を考えております。親族の帰省の他、地

域住民の生活に直接関わる部分も多くあり、相互の理解を前提としておりますので、今後も地域の皆様と協議を重ねて参りたいと考えております。白川村新庁舎建設については、現在建設基金を4億5千万円積み立てております。この件については、今年度3月の予算委員会で、高桑委員からの質問に対して村長から、「新庁舎の建設予算規模は、約20億円。基金の積み立てが半分を超えたころ。」と回答されております。今回、建設計画より基金積立が先行してしまった訳ですが、昨今の地震被害等の大規模自然災害を考慮するならば、耐震補強をしたとは言え建設後50年経過したことや、土砂災害警戒区域に存在することを鑑みると必要であると考えております。今後の財政の見通しや人口動向も勘案しながら、基本構想の策定に取り組んで参ります。（答弁者；近藤村民課長、向観光振興課長、岩本総務課長）



## 企業誘致について



大田忠広 議員

### Q 企業誘致の在り方と今後の誘致について

#### A 共存共栄を行い新たな誘致に努めます

**Q** 12月4日、共立メンテナンスよりホテル開設にともなう住民説明会が行われました。19時の説明会に参加しました。新採の職員研修会用に作成された白川村についての説明や共立メンテナンスの歩みや事業の紹介など、1時間ほどの丁寧な説明でした。最後に質疑応答があり、その中で村民からいくつかの質問が出ました。特に宿泊料金を下げないかとの問いについて、今ここでその事については全く行わないとは言えないとの回答でした。白川村は観光立村であり、観光で生計を立てている住民が多く、しかも個人事業者ばかりで、住民の生活を脅かす問題であると感じました。大企業との競争には太刀打ちが出来ない事は目に見えています。企業誘致を実施する行政責任としてこの大きな問題について、どのように考えているのかお聞かせください。また、本年6月議会でも質問しましたが、現在の企業誘致の進捗状況についてもお聞かせください。

**A** 共立メンテナンスの開業説明会では、議員おっしゃるとおり多くのスクリーンデータを使って丁寧な説明が行われました。その中で「御宿結の庄」のコンセプトについての説明がありました。

コンセプトは「高級大衆リゾート」ということで、リッツカールトンや星野やそのような超高級志向ではなく、また1泊2食7,800円というような激安志向でもなく、その中間より少し上の高級リゾートを目指すというものでした。一般大衆をマーケット対象に、普通の人頑張れば手の届くところにある贅沢を提供するというもので、価格についても繁盛期では5万円を超える設定であったり閑散期では2万円を切るという、時期による調整はあるものの、平均して2万5千円程度の価格設定という説明でありました。

「御宿結の庄」は共立メンテナンスのリゾート事業部が運営するリゾートホテルとして運営されます。販売戦略上、市場動向に応じての価格変動

や施設認知のためのキャンペーン価格も考えられますが、開発投資に応じた適正価格を目指したいとお話していただき、採算性を見れば極端な価格低下は考えられないように思われます。

いよいよ年明け3月に開業を迎えることとなりましたが、これまで誘致に対する説明会および工事着手前の説明会の開催や旅館組合からいただいた要望についても真摯に受け止めて進めてまいりました。今回の開業説明会についても関係者からの要請もあり、企業誘致の取組みも踏まえ共立メンテナンスとしても積極的に開催に応じていただきました。

この宿泊施設の開業により、白川村の宿泊ニーズに広がりができるものと感じております。世界遺産の中にある合掌民宿にステータスを求め泊まりたい方、温泉旅館に泊まりたい方、また安価にゲストハウスを希望される方、そしてさらにホテル形式を望まれる方という多様なニーズに答えられる観光地としてさらなる活性化に期待するところであります。

また、開業にあたり「御宿結の庄」には村民を6名採用されたと聞いております。今後も村民採用には積極的に受け入れていただけるものと思っております。

共立メンテナンス側においても共存共栄は意識しているところでもあり、各種団体との連携や地域行事への積極的な参加をお願いしています。

高級宿泊施設については、3月8日にグランドオープン予定となっており、いよいよ営業開始となります。

養豚事業は、2020年度の初出荷を目指し、議会の現場視察でも見ていただきましたが、管理棟、繁殖分娩舎、離乳舎など7棟の建築工事が進められています。

酒造会社、漬物工場については村への進出を希望していることもあり、スムーズに誘致できるよう働きかけをしているところであります。

また情報収集等を行い、新たな誘致についても務めていきたいと思っております。

(答弁者：岩本総務課長、成原村長)

**第3回総務産業常任委員会**

報告者 森崎敏克委員長

**村内視察を実施し事業の進捗を確認！**

11月6日、総務産業常任委員会による村内視察が行われ、平成30年度事業の現場を見て回り、担当者へ説明を求めました。



国道156号秋町の崩壊現場

●国道156号秋町スノーシェッド山腹崩壊（高山土木事務所）

7月豪雨による災害により長期間の通行止めとなったが、応急工事により復旧が進む。

●大白川間名古屋治山工事（飛騨森林管理署）

数少ない現地の堆積土砂を利用するコスト減、環境保全型砂防ダムの建設が進む。



大白川間名古屋砂防ダム

●遠山家ごはんプロジェクト

食事を楽しむ環境づくりに工夫の余地がある。

●デイサービスセンター建設工事

瀬音さくら山荘に隣接して建設が順調に進む。

●木谷・保木脇河川災害現場、平瀬地内護岸予定地

複数の災害現場は応急工事により復旧が進む。防災・減災対策として村単独で平瀬地内の堤防かさ上げを検討している。



平瀬地内護岸のかさ上げを検討



雪崩対策が施工される  
村道下田内ヶ戸線

●村道下田内ヶ戸線工事

雪崩対策のため工区ごとに検討された工法が進められている。

●養豚場建設工事（吉野GPファーム）

2020年度初出荷を目指して、豚舎等の建設が進む。



飯島下田地内の養豚施設

村内視察後、役場にて詳細説明を受けたほか、茅場造成地や茅刈機開発状況について報告を受けました。

**第4回総務産業常任委員会**

報告者 森崎敏克委員長

**付託議案を全会一致で可決することに！**

12月定例会会期中の12月11日、議員全員で構成する「総務産業常任委員会」を開催し、本定例会で付託された人事院勧告に伴う、期末手当支給率、給与に関する条例改正3件について慎重に審議を行い、全会一致で可決することとなりました。(P3をご覧ください)



## 第2回議会改革特別委員会

報告者 新谷保雄委員長

### 議員定数と議員報酬の現状維持を全会一致で！

12月定例会会期中の12月11日、議員全員で構成する「議会改革特別委員会」を開催し、来年実施される統一地方選挙に向けて議会方針を協議し、議員定数7名と議員報酬について現状維持とすることを全会一致で決めました。これ以上の定数削減は村民の声を聞き反映させ、行政を監視する議会活動の停滞につながると思われること、報酬減額は議員のなり手促進を逆行させると心配があるとの意見が出ました。

また、委員会では議会を評価する方法の確認と、外部評価を導入することについて検討することが協議されました。

## 「議会から村長に提言書を手渡しました」

12月14日(金)の定例会終了後に村議会から以下について提言書を提出しました。

### ●冬期間の除雪による田んぼへの雪の堆雪について

除雪は冬期間の村民の日常生活を守るものであり、大きな予算を講じていることは評価するものである。堆雪地について排雪時の重機の効率的な運用や時期、連続使用の是非を検討いただきたい。堆雪を受け入れていただいている農地を区で積極的に清掃するなど協力を依頼してはどうか。堆雪する土地があって除雪が行えることを再認識し、農地の環境保全に努めていただきたいと考え提言するものである。

### 2. 若者や家族持ちの世帯が白川村へ移住する際に、村営住宅の空きが無い。Uターンを希望する村民への住環境の整備について

家族世帯がUターンを希望しても空き家がなく、集合住宅にも空きがない状態である。高山市や飛騨市には住宅新築へ助成制度があり若い世帯が新築するケースが増えていると聞く。村でも助成制度の新設や村営あるいは民間集合住宅の建設、固定資産税の優遇などの措置を村の人口増や少子化対策のためにも検討していただきたいと考え提言するものである。

### ●下ゴソ線、国道360号についてスクールゾーンが無く、通学に不安を抱えている通学路の確保について

国道360号や村道下ゴソ線は車両の通行量が増加しているが、この地区にスクールゾーンがないため通学児童や観光客の安心安全確保が十分とは言えない。下ゴソ地区の道路山側に歩行者専用道路の設置を検討していただきたい。

村内には歩道帯が設けられない場所が多いと思うが、全域のスクールゾーンの調査とスクールバスの運行経路の見直しを実施していただきたい。児童生徒、観光客が安全に歩行するためにと考え提言するものである。

この議言書に対する回答を3月末までとしていますので4月号でお伝えします。



議会からの提言書を村長へ



## ～ 挑戦と責任 ～

みなさん、新年あけましておめでとうございます。この議会だよりが発行された約3ヶ月後に、白川村議会議員選挙が行われます。昨年8月に開催した「ふれあい懇談会」で、参加者の方から議員報酬の増額のご意見も頂きました。

私たちは、12月11日に議会改革特別委員会を開催し、4月の統一地方選挙に向け議員定数や議員報酬、議会運営全般の反省も含め協議した結果、定数及び報酬について変更なく進む事となりました。若い人が挑戦しやすい仕組みに少しでも近づきたい思いはありましたが、村の予算の実情を見る限り議会に予算を充てた分、何かの村民サービスを削るのでは本末転倒であり、大変残念ではありますが、今は白川村の身の丈に合わせた中で活動して行こうという事になりました。皆さんは、4年前の選挙で応援していた候補者の言葉って覚えていますか？それは実現していますか？応援していた現職の議員に対しての皆様の評価は如何でしょうか？4年に一度の禊を受ける。議員にとっては、一番ドキドキの時なのかもしれません。そこで、是非皆さんにご理解頂きたい事があります。議員には、予算の議決権はありますが執行権はありません。議員が何かを起こしたい時は、議会としてまとまらなければなりません。従って一匹狼の理論で議員活動をして、成果は得られない事が多いのです。新しく議員に挑戦しようと考えている皆さん。挑戦する為には勇気が必要です。意識を共にする仲間が必要です。そして、仲間と村民を裏切らない責任感が必要です。時としてそれは家族を犠牲にしなければならない時もあるかもしれません。平成31年4月16日告示(予定)の日には、何人の候補者がいるのでしょうか？今後、村の人口や財政が縮小していくことが予想される中で、失うものと生まれるものについて、議員として明確な賛否の判断が求められる案件が多くあります。仲間意識にとらわれず、村を代表する一人として、村益を優位として考えて頂けると嬉しいなと思っております。議会だより創刊から21回にわたり議会だよりのコラムにお付き合い頂き、誠にありがとうございました。(高桑 徹司)

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。今年も暖冬の影響か、12月の降雪は全国的にも例年より遅く、各地域のスキー場は悲鳴を上げています。白弓スキー場も12月17日に安全祈願祭が行われましたが、全雪の無いゲレンデでした。祈願祭の中で教育長より村長代理の挨拶があり、その中で白弓スキー場の保存継続に關わる要望書が885名の署名とともに村

長に提出されたとの事。村民全体人口の過半数以上の方が保存継続を望んでいる。どの事業にも費用がかかるのは当然の事ですが雪国白川村ならではの必要性をしっかりと考えて行かなければならないと感じております。本年は統一地方選挙が4月に控えております。村議員として村民皆様のためには何が出来るか。何をすべきか気を引き締めて参ります。

(大田忠広)



## 議会探検隊募集 (議会傍聴です)

議会議員が心より皆様をお待ちしております。一般質問で戦う私たちを、応援して下さい。

### 申込先

白川村議会事務局  
または、各議員まで

**日時** 平成31年3月定例会  
一般質問日

(開催予定 3月中旬)  
※決まりましたら、早めにお知らせします。

**定員** 先着10名様

**締切** 開催日の午前9時までですが、定員に達している時は、お断りする場合もあります。

声は、  
出せませんが